

令和4年10月7日

保護者様

福岡市立周船寺小学校
校長 笠 宏 照

令和4年度 全国学力・学習状況調査の結果等について(お知らせ)

清涼の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃より、本校教育にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

さて、文部科学省では、児童の学力の状況を把握・分析し、教育施策の改善を図るとともに、指導の充実や学習状況の改善等に役立てるために、全国学力・学習状況調査を行っています。

つきましては、第6学年が4月19日に実施しました「全国学力・学習状況調査(国語・算数・理科)」の結果等についてお知らせします。

○ 国語 全国標準と比べ、「同程度である」

問題文の中で、描写を基に登場人物の相互関係について捉えることや、言葉の特徴や使い方について理解し、適切な言葉の働きを回答から選択することについては、正答率が高く、よく身につけている内容であると考えます。

物語の人物像や全体像を具体的に想像して書きまとめたり、段落構成や文章表現のよさをみつけて自分の言葉で書きまとめたりすること等に、課題が見られました。

今後につきましては、登場人物の行動・会話や説明文の叙述などを通して、筆者・作者の考えを豊かに想像すること、段落相互の関係に着目して段落構成を捉えたり、文章表現のよさに着目したりしながら読み進めることの指導を重点的に行い、これらの活動を活かして自分の考えをノートやプリントにまとめることで、文章表現の力が身につくよう、指導を重ねたいと思います。

○ 算数 全国標準と比べ、「同程度である」

分類整理されたデータをもとに、目的に応じてデータの特徴を捉え考察することや、図形を構成する要素について適切に捉え、図形の意味や性質、構成の仕方について理解したり考察したりすることについては、正答率が高く、よく身につけている内容であると考えます。

百分率で表された割合について、基準量や比較量、割合の関係を分数で表したり、百分率で表された割合をもとに基準量や比較量を求めたりすること、二つの数の最小公倍数を求めること、示された場面を解釈し、どのような計算の仕方で答えを求めることができるのか記述すること等に、課題が見られました。

今後につきましては、基礎的・基本的な計算技能の確実な定着を図りながら、特に、二つの量の割合として捉えられる数量に関わる数学的活動や、目的に応じて多様な表現方法を用いながら数の表し方や計算の仕方などを考察し、自分の言葉で書き表す学習活動について、重点的に指導していきます。また同時に、ICT機器を活用して個別最適な学びの充実を進め、数学的に考える力と基礎的・基本的技能を活用する力が定着するように指導を重ねたいと思います。

○ 理 科 全国標準と比べ、「同程度である」

理科の教科書に載っている単元の基礎・基本「各学年で取り扱う重要事項」については、正答率が高く、よく身につけている内容であると考えます。

一方で、教科書の内容から生活の場面で使われる法則を類推することに課題が見られました。

今後につきましては、生活に結び付いた場面について、ICTを活用しながら今回出題された問題のような実験や体験（日光を鏡ではね返した時のはね返し方、家庭にあるものでつくった水溶液の性質等）に触れられるよう、指導していきたいと思えます。

今後も「確かな学力」を育む取り組みを進めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

調査については、福岡市教育委員会からの通知「学校の学力調査結果の公表ガイドライン」に基づき、各学校で結果等を公表しています。

また、全国標準との比較を表した文言は、福岡市教育委員会から学校に示されたものです。文言は、「①上回っている。②やや上回っている。③同程度である。④努力を要する。」の四段階があります。

今後、各学習状況調査の結果等の公表にあたりましても、公表ガイドラインに基づいて行います。